



# いわくに 市議会だより

第 38 号

2016年(平成28年)6月1日  
発行 岩国市議会

〒740-8585  
山口県岩国市今津町一丁目14番51号  
TEL (0827) 29-5190  
FAX (0827) 21-1001  
URL <http://www.iwakunishigikai.jp>

編集:いわくに市議会だより編集委員会  
印刷:フジ美術印刷株式会社



## 神社の後ろの大岩



# わがまち 歴史めぐり

歴史・文化  
シリーズ

岩国市内各地の歴史・文化をシリーズで紹介します。

しま たにみょうじんじや  
▲ 島の谷明神社(錦町)

羅漢山(錦町大原1109m)の西に「島の谷明神社」という古いおやしろがある。このおやしろの後ろには大きな岩があり、そこへ厳島神社の沖の海から一匹の大蛇が飛んてきて、この地の神様になったと言い伝えられている。(島の谷明神社 社伝から)

### ► 史跡 いのうえぶんごのかみなりまさ 井上豊後守就正家墓所(周東町)

井上家は、信州の信濃源氏井上頼孝の末裔で、毛利家に属した名族である。

井上就正は、1585年、毛利輝元の時代に豊後守に任せられ、周防4郡（玖珂、都濃、熊毛、大島）段銭奉行となった。東京駅に銅像が建っている子爵井上勝は井上家の子孫で、鉄道の父と仰がれた。また、明治の元勲として有名な井上馨もこの一族の一人である。

(井上豊後守就正家墓所 説明板から)



## 主な内容

3月定例会のあらまし	2	常任委員会審査報告	8~9
一般質問	3~7	シロヘビの館/岩国市新市誕生10周年記念式典	… 10

# 3月定例会のあらまし

3月定例会が2月25日から3月22日までの27日間の日程で開催されました。

このたびは1月に行われた市長選挙において当選を果たされた福田市長の3期目最初の議会であり、平成27年度一般会計及び特別会計等の補正予算と共に総額731億9千万円の平成28年度一般会計予算などの審議が行われました。

この定例会には、諸般の報告1件、監査報告6件、報告3件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、平成27年度一般会計補正予算、平成28年度一般会計予算など予算議案31件、農業委員会委員の同意に係る議案24件、条例議案22件、指定管理者の指定に係る議案18件、その他の議案8件、議員提出議案2件が上程され、慎重審議が行われました。

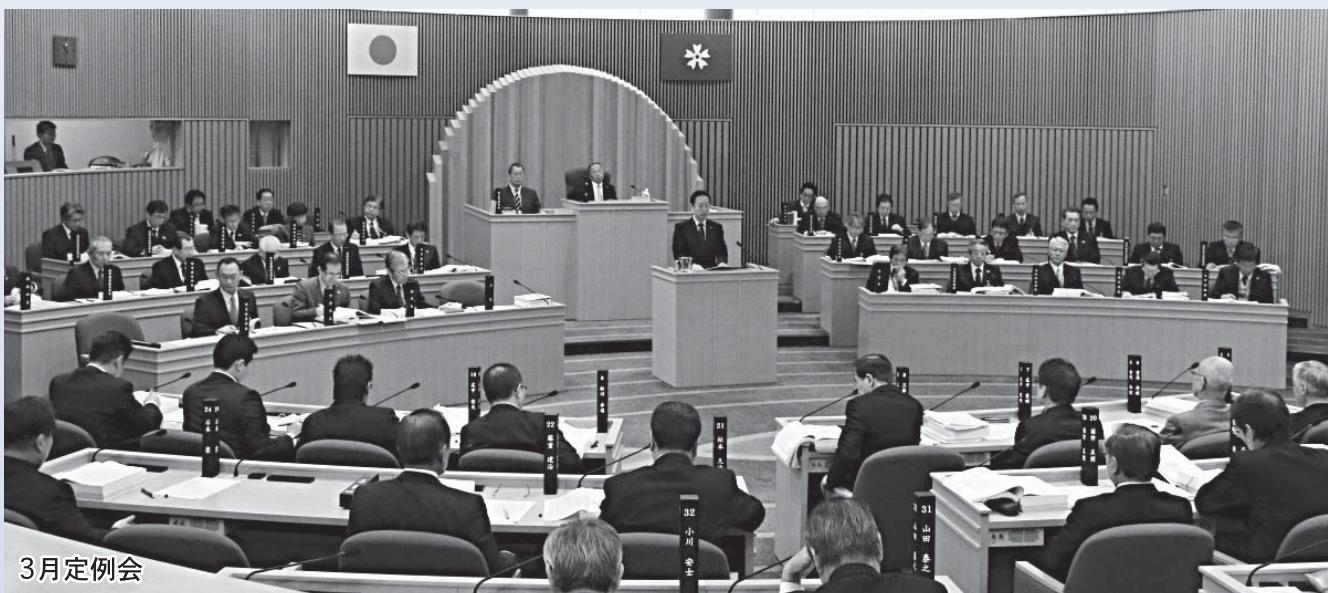
一般質問では28人の議員が登壇し、5日間にわたり熱の入った質問を繰り広げました。

また、今回は、平成28年度予算に係る市長の施政方針や新市誕生10年の経過を踏まえての成果や現状と課題についての質問、岩国基地と米軍再編問題、増便となつた岩国錦帯橋空港に係る質問等、多岐に渡るものでした。

常任委員会に付託された議案については、経済、教育民生、建設、総務の各常任委員会において慎重審査が行われました。

最終日の本会議には、各常任委員会の委員長から審査報告があり、報告のとおり可決されました。また、議員提出議案2件につきましても可決されました。

なお、このたび岩国市のホームページがリニューアルされました。一般質問の詳細な内容につきましては、岩国市議会ホームページにおいて公開されております。ぜひご覧いただき岩国市議会へのご理解を賜れば幸いです。



3月定例会

## 「岩国市議会ホームページ」のお知らせ

岩国市議会ホームページでは、市議会に関する情報を掲載しています。

市民の皆さんにとって、市議会がこれまで以上に身近な存在となるよう、今後とも内容の充実を図るとともに、より分かりやすい議会情報を発信してまいります。

(ホームページ編集委員会)

☆ホームページのURLは  
<http://www.iwakunishigikai.jp> です。



岩国市議会をクリックすると、市議会の情報をご覧いただけます。

## 幹 線 道 路

**〔問〕 岩国大竹道路・岩国南バイパス・岩国西バイパスの三路線は住民の最も要望の強い幹線道路である。国に促進や計画樹立の要望を行っていると言うが、遅々として進まない。特に南北バイパスの南伸・西バイパスの計画樹立を国に強く要望すべき。西バイパスについては市において路線の概要決定をすべきではないのか。**

**〔答〕 岩国南バイパス南伸については、国において、国道188号線の状況・課題を整理しながら検討を行っている。岩国西バイパスについては、早期実現に向け、県道欽明路バイパスの改良も含め、民間の期成同盟会と勉強会を重ねている。**

(都市計画課)

## 学 校 整 備

**〔問〕 平田小学校では1年生用のトイレで、児童が使用中に前に倒れて頭をケガしたため、少しだけの広い段に変えた。それでも、滑って倒れる危険がある。女子トイレには洋式トイレが1ヶ所あるが力ーテンで仕切っているだけである。職員用のトイレには洋式トイレがない。古くてにおいもするので早く改善して欲しいという声が届いている。**

**〔答〕 トイレの改善については対応が必要。新年度から低学年児童が使用するトイレの改善に取り組む。毎年1~2校程度の整備となる。要望の強い麻里布小、平田小などからはじめたい。**

(教育政策課)

## ウソ電話詐欺

**〔問〕 本市におけるウソ電話詐欺による平成27年の被害額約6200万円は尋常でない。現在の取り組みとその対策を問う。**

**〔答〕 特に高齢者を狙ったウソ電話詐欺の被害に歯止めが掛からない。昨今、その効果的な対策として昨年11月から独居高齢者世帯を対象に貸し出しを始めた「警告メッセージ付き通話録音装置」の設置で大きな効果を得ている。本機は電話口での犯罪行為に対する抑止効果が高く、本人が受話器を取らずに装置のみでの撃退が期待できる。**

貸し出し等については岩国市消費生活センター(22-1157)にて対応中。(市民協働推進課)

一般質問  
市政を聞く

3月定例会では、  
28人の議員が登壇しました。  
岩国錦帯橋空港の利用状況や  
岩国基地問題など  
80項目にわたる質問が  
展開されました。

## 中山間地域振興

**〔問〕 現在及び将来において、中山間地域の振興を総合的かつ計画的に推進するため、平成25年6月24日に条例が制定された。**

条例の11条に、市長は毎年中山間地域の振興に関する施策の実施状況を議会に報告し、公表しなければならないと掲げてある。

これまでに議会で報告がないが如何か。

**〔答〕 中山間地域振興基本計画の始期である平成27年度の実績等について、取りまとめた「中山間地域づくり白書」を策定し、本年9月議会において、報告をすることもに公表していく予定で準備を進めている。**

(政策企画課)

**中山間地域振興施策基本条例11条を問う  
「中山間地域づくり白書」策定し報告する**

松 本 久 次  
(憲政会)



錦川清流線・とことこトレイン

## グリーンオアシス

## こども医療費

こども医療費助成拡充の実施予定は  
10月からの事業実施に向け検討

越 澤 二 代 (公明党議員団)

問 乳幼児医療・こども医療費助成制度は、多くの子育て家庭や市民から大変期待されている施策として、所得制限の撤廃と中学3年生までの対象年齢の拡大への早期実施が待ち望まれている。いつから実施となるのか問う。

答 平成20年10月から防衛省の「再編交付金」を基金として積立て財源として、小学生を対象として所得制限を設け10年間の事業実施を行う予定で「こども医療費助成事業」を開始。

現在、所得制限の撤廃と対象年齢を中学生までの拡大について10月からの事業実施を目指し、関係機関との調整を行い実施に向けた検討を進めている。

(高齢障害課)

## まちづくり

## 焼却施設

周辺の安全や環境に十分配慮する  
焼却施設建設に關わる交通安全対策は  
協議会を立ち上げ計画を策定し進める

中 村 豊 (公明党議員団)

問 資材の搬入ルートは通園、通学路になつていて、子供をはじめ高齢者の安全のために十分な交通安全対策が重要だ。交通安全対策はどうに取り組んでいくのか問う。

答 午前7時30分から午前9時までの間工事車両の通行を制限する。警備員も配置し安全に配慮する。また、搬入する資機材の一部を海上輸送し、市街地を通行する工事車両を削減する。資材の仮置き場を設け、搬入時間を分散させ車両が特定の時間に集中しないようにしていく。工事従事者や搬入車両等の関係者に安全教育を徹底して行き、交通安全に対する意識づけに努めていく。

(焼却施設建設事務所)

## 地域医療

## 空家対策

倒壊危険対策を危機感を持つて進めよ  
協議会を立ち上げ計画を策定し進める

河 合 伸 治 (公明党議員団)

問 倒壊危険家屋対策は、平成25年の条例制定で、所有者に対し、指導・勧告・命令ができるようになり、行政代執行も規定されたが、制定以後、補助金を活用しての解体は進んでいるが、人に危害を与える恐れのある建物の所有者に勧告・命令はなされていない。スピード感を持って対策を進める必要がある。対策について伺う。

答 来年度の早い時期に、市長をトップとする「空家等対策協議会」を立ち上げ、「空家等対策計画」を策定し、より効果的に実行性のある対応を進めてまいりたい。

(建築住宅課)

グリーンオアシスの今後を問う  
組合の承認が得られれば存続する

内外情勢研究機関誘致について  
国から要請があれば協力検討する

今後の玖北地区の地域医療について  
医療体制を堅持しながら対応する

植 野 正 則 (双葉会)

前 野 弘 明 (市政クラブ)

広 中 英 明 (市民クラブ・草の根)

問 3年後的新たな「岩国市ごみ焼却施設」の完成に伴つて、玖珂町で稼働している周陽環境整備センターは廃止され、併設されたグリーンオアシスの熱源が失われるところになるが、開設以来、年間利用者も5万人を維持して現在まで至つており、市民の健康づくりに貢献する施設であるグリーンオアシスの存続についての方向性を問う。

答 これまで20年間御協力していただいた地元を始め、年間約5万1千人の利用者の期待に応えるために、周陽環境整備組合の承認が得られれば、当該施設を岩国市が引き継ぎ、当面、管理運営していく。 (環境事業課・スポーツ振興課)

(地域医療課)

答 情報分析機関の設置について、国からの要請があれば協力について検討したい。(総務課)

問 維新150年を機に、まちづくりを地方力による「都市格形成」と考えると、倫理道徳による「英才教育」が必要である。道徳による指導者教育を土台にして、航空宇宙産業等の高度技術産業を育てるべきだ。情報収集能力としての語学力と、陸海空の結節点を結ぶ高速アクセスを手に入れれば、更に発展する。戦略家吉川公が治めた岩国は、現在の日本にとって必須となる国際情勢的確に捉えるための研究機関の適地である。誘致の考えはあるか。

答 情報分析機関の設置について、国からの要請があれば協力について検討したい。(総務課)

問 12月議会で玖北地域の5年後の人口と高齢化率を伺いました。ご答弁通り推移すれば、今後は急速に超高齢化と人口減少が進んで行くことになります。至急、変化に対応した地域医療の検討が必要と考えるが、どのような対応をされるのか伺う。

答 玖北地域は高齢化・過疎化の進行などの変化が現れ今まで通り医療体制を堅持して行くことが、厳しくなると予想されることから、今後は医療と介護の連携や生活支援等のサービスを一体的に行う地域包括ケアシステムの確立など、変化に即した環境整備にしっかりと努めていく。

(地域医療課)

# \*\*\*\*\* 3月定例会/一般質問 \*\*\*\*\*

## 教科書

## 由宇練習場

広島東洋カープ由宇練習場の活用対策は  
地域振興や観光振興に結び付けていく

積極的に対応していく！

石原 真（清風クラブ）

問 由宇練習場には近年、カープ人気の影響で市内外よりの来場者が増加している。そうした来場者に対し、市内での買い物や観光地への誘導などの施策を講じ、地域振興や観光振興を図るべきではないか。

答 由宇練習場で開催される試合での観客数は、年間4万6千人で3年前より倍増している。来場される方々に対し、本市の観光拠点、商店街にも足を運んでいただき、交流人口の増加に努めていただきたい。そのため、観光ホームページやフェイスブックなどの情報発信や集客拠点から市内を周遊いただくための「周遊マップ」の作成も予定している。（由宇総合支所・地域振興課、観光振興課）

## 通 学 路

周東町千束地区の排水対策は？

積極的に対応していく！

藤本 泰也（憲政会）

問 周東町は、島田川が築堤河川のため、水害対策は長年の懸案事項であったが、河田団地の排水ポンプ場整備、上市上地区の排水対策事業も今年度で終わり、着実に排水対策は進んできている。新年度から周東町千束地区の排水対策の検討に入るとの事だが、どのように進めていくのか。

答 上流部付近のため池、国道、JR等の地域的特性を考慮し、河道拡幅、調整施設、排水機場等如何なる工法が望ましいかを地域のご意見も参考にしながら様々な検討を行いたい。今後も引き続いて大雨による浸水被害の軽減を図るために積極的に対応していく。（河川課・農林振興課）

通学路（中洋小学校校区）の安全対策  
通学における安全確保に努めていきたい

重岡邦昭（市民クラブ・草の根）

問 報道により教科書会社が検定中の教科書を教員らに見せ、謝礼を渡していた事が発覚しました。子ども達の成長過程において、信頼する教職員の不審な行動は、子ども達の正義に大きな影響を与え、また同時に、教科書の選定にも信頼を失います。ついては岩国市において、教科書会社による教育委員会と学校関係者の接觸状況についてお聞きします。

答 岩国市教育委員会において、教育長をはじめ教育委員が教科書会社と接觸した事実はありません。一方、教員については、山口県が確認作業中であり、現時点でお伝えする事はできません。（学校教育課）

## 地 方 創 生

岩国市の市有地と福祉施策について  
公平公正な市政と福祉向上に務めます

阿部秀樹（憲政会）

## 市有地・福祉施策

問 岩国市民の財産である市有地を医療・福祉・学校等の事業に無償で貸し付けているのは、公益性を考慮しても他の事業者と競合の中で不公平が生じている。買い取りや賃貸借に切り変えるようにならるべきである。また、この度の地域包括センター民間委託は、受託法人による「かかり込み」にならない対応を求める。そして、老朽化した養護老人ホーム静風園の整備は、早期対応を求める。

答 市有財産の活用や貸借については、今後慎重に相手方とも協議しながら対応する。地域包括委託はチェック体制を強化する。静風園は平成32年度開設を目指す。（用地管財課・介護保険課・高齢障害課）

岩国地区を中心とした地方創生について  
賑わいを生み出す施設を整備する

片山原司（双葉会）

問 岩国地区と錦帯橋を中心とした地域活力向上による城下町の賑わいのための具体策を問う。

答 「有形文化財・国安家住宅」は本年10月頃オープン予定、（仮称）錦帯橋資料館の建設予定、岩国シロヘビの館は3月24日オープン、鶴を育てる「鶴舎」は来春オープンの予定があり、岩国地区を中心に展開している。近年にない投資と施策を打出している。また、歴史的なまちなみの整備において、道路の景観舗装や街路灯の整備も順次進めている。「住んでもよし、訪れてよし」の総合的なまちづくりを目指す。（錦帯橋課・都市計画課・文化財保護課・観光振興課）

## 愛宕山対策

## 錦川鉄道

**錦川鉄道の利用促進について問う**  
**今後も県等と利用促進に取り組む**

三原善伸（親政会）

**問** 錦川鉄道は利用者の減少等もあり、毎年赤字となっている。今こそ錦川鉄道の価値を再認識し、これを活用し地域創生を行うべきである。特に観光資源開発と活用こそが大切ではないか。

**答** 市が補てんしている錦川鉄道の赤字は、現在までの累積で約8億1500万円となった。

沿線住民の大切な公共交通機関を守るために、経営の収支改善に向けてことこトレインの運行や生活交通バス運行業務、岩国城ロープウェー運行業務の受託等を行っている。また鉄道を利用して観光客誘致のために、沿線の絶景ポイントの整備等を山口県と協力して取り組む。

（地域交通課・観光振興課）

（拠点整備推進課）

## 道路整備

## 福祉対策

**障害者差別解消法の施行に伴う対応を聴覚障害の方の聞き取り機器を設置**

丸茂郁生（清風クラブ）

**問** 4月1日より障害者差別解消法が施行される。市役所窓口に来られた方が困って帰るのではなく、安心して帰れるよう心を向けなければならない。1階窓口に「いらっしゃいませ」と温かい貼紙で「おもてなし」の環境整備に努められる。障害を持つ方が、その人らしく自由に安心できる場所を目指す。その姿勢が市民の安心感、幸せ感に繋がる。本市の対応を伺う。

**答** 市全職員を対象に研修会・アンケート調査を行っている。障害者の方が安心して自立した生活が送れるよう、不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供の周知徹底に努める。

（高齢障害課）

（道路課）

## 就農支援

## 自主財源

**自主財源比率の引き上げをめざせ**  
**地方交付税も「地方固有の財源」**

小川安士（日本共産党市議団）

**問** 健全な収入増をめざすべきだが、収入状況をどう見ているか。

**答** 自主財源比率35%、依存財源比率65%だが、防衛補助金に依存しすぎではないか。たしかに現行制度上は、交付金や補助金も含めて全体の予算が組まれるが、それらに頼るだけでなく、岩国市独自の歳入を増やす、健全で自立性の高い財政の実現に挑戦するべきだ。

**答** 地方交付税も地方固有の財源と考えて良い。防衛補助金は高率の補助金で、他の省庁に比べて大変有利だ。

**答** 企業誘致での雇用創出、地場産業の育成支援、観光振興などで収入確保に努めたい。（財政課）

（農業委員会事務局・農林振興課）

（市内の農地については、8月から10月までの3ヶ月間で行う予定だ。今後、農業委員会や地中間管理機構と連携を密にとり、しっかりと情報収集に努め、新規就農者の支援に取り組んでまいりたい。）

**愛宕山の防衛事業周辺道路の交通対策を両市の時間帯区分や分散化など安全運行を徹底させる**

**県道111号線未整備区間にについて脆弱な区間の改善を強く要望していく**

田村順玄（リバーライフ）

廣中信夫（憲政会）

武田伊佐雄（憲政会）

**問** 愛宕山で防衛省の関連事業が一斉に始まった。野球場や陸上競技場に加え、西地区で進む米軍住宅建設工事だ。これらは件数も60件余、事業費は300億円近い膨大なものでこれから多くの工事車両が周辺を通行する。関連業者の交通公害や渋滞対策など適切な対応を国に求めて頂きたい。

**答** 市民の期待が大きい運動施設の一時も早い完成を、国に求めていくが、工事中の交通渋滞等の対策については、左折による出入りの厳守のほか、交通整理員による安全確認の周知、車両運行の時間帯分散化、通行ルートの指定など最大限の配慮をしていくと国から伺っている。

**就農支援のための情報集積について市内の情報収集は10月までに行う**

（農業委員会事務局・農林振興課）

# \*\*\*\*\* 3月定例会/一般質問 \*\*\*\*\*

## 広島広域都市圏

## 耕作放棄地

**農地取得要件の緩和について**

農業委員会総会にて検討されるものと考える

片岡勝則 (政友クラブ)

**問** 中山間地域において、耕作放棄地が年々増大している中、その解消策の一つとして農地取得に係る下限面積を引き下げ、地域指定も美川・柱島を中山間地域に拡大すべきと考えるが、当局の所見を問い合わせる。

**答** 耕作放棄地解消に向けた、下限面積要件の緩和については、毎年農業委員会総会で審議されている「下限面積の検討」のなかで、地域ごとの実情を踏まえて検討されるものと考えている。事務局としても、本市が進める移住・定住促進と言う観点も含め、緩和に向けての検討の要望を、農業委員会に対して行ってまいる。

(農業委員会事務局)

## 道の駅

## 学校給食

**給食の食材・衛生管理基準について**

学校給食も地産地消に力を入れる

坪田恵子 (日本共産党市議団)

**問** 施政方針では、「市民一人ひとりの豊かな人生を目指し、良い食生活の普及、地産地消等で食育を推進」とあり、学校給食でも食育に力を入れることのことが、尾津の給食センターの現状は。また、食品の購入・選定等は「学校給食衛生管理基準」どおり行われているかを尋ねる。

**答** 市内全学校給食施設について、県産食材使用率56%となっている。今後も地元食材の使用率の向上に努めるとともに、児童生徒が給食を通じて地域の食材・食文化に触れる機会をつくりていく。また施設・設備・調理過程・衛生管理体制等、学校給食全般で安心安全で魅力ある給食の提供に努めていく。

(学校教育課)

## 人口対策

## 文化芸術

**芸術家等育成のための文化芸術振興財団の設置を問う**

整備の検討をすすめる

桑田勝弘 (公明党議員団)

**問** 文化芸術振興「アーヴィング」には「文化芸術振興財団による文化芸術事業の展開」の項がある。県内の主要都市には公益財団法人の文化振興財団がある。若手芸術家等の育成などのために、文化芸術にかかる振興財団の設置をどのように考へているか。

**答** 財団には、優れた文化芸術機会の提供や、人材育成・文化芸術活動への支援などをけん引する役割の他、培われた文化芸術に関する知識と経験を活かし、新たな魅力の創造発信活動が期待できる。専門知識を兼ね備えたスタッフを育する、文化芸術振興財団の整備の検討をする。

(文化振興課)

**広島広域都市圏の取り組みについて**

**地域活力の向上を目指し取り組む**

松川卓司 (憲政会)

**問** 広島広域都市圏において、連携中枢都市圏制度を活用し連携協約を締結する事が議案に上がっているが、本市は広島広域都市圏内の西部の中心的役割を担うべきだと考へるが、そのプロジェクトチームの設置等推進体制について、また広島・宮島という観光資源を生かした取り組みを優先的に考へてはどうか。

**答** 平成28年から取り組みが始まることから、当面は政策企画課において対応するが、具体的に取り組みを推進していく中で、プロジェクトチームの設置を検討する。観光については「広島宮島国地方観光連絡協議会」に参加し、観光PRイベント等の連携を図っていく。(政策企画課)

**玖珂西地域への道の駅整備について**

**岩国市総合計画の中での検討について**

藤重建治 (憲政会)

**問** 道の駅は国の事業として、道路利用者が24時間利用できるトイレを備えた休憩施設であるが、本市にも錦町に設置され、地域の拠点施設として活用されている。

**答** 周南市以東の国道2号沿いには道の駅が整備されており、道路利用者の利便性向上はもとより、物販に係るメリットとして、農業ほか多様な産業の活性化や地域の防災拠点としての活用もできるなど、周辺地域の活性化に繋がると考へるが、市長の見解を問う。

(農林振興課)

**岩国市の人口減少対策について**

**人口増を目指す戦略を策定する**

貴船齊 (政和会)

**問** 人口減少に歯止めがかからない状態が続いている。人口をめぐる都市間競争に打ち勝つための岩国市独自の人口減少抑制策について問う。

**答** 国の地方創生加速化交付金を活用し、シティープロモーション戦略を策定する。市民の岩国市に対する誇りと愛着の醸成や定住意向の向上を促し、市外からも「訪れてみたい」「住んでみたい」と感じてもらえるように、戦略的・効果的に本市の魅力を発信する仕組みを構築する。「岩国市まち・ひと・しごと総合戦略」と連動させ「選ばれるまち」を創り、人口の流出を抑制し、流入を促進したい。(政策企画課)

## 議案第15号 平成28年度岩国市一般会計予算

問 農地利用最適化推進委員が新設されているが、農業委員との担当業務の区分けや両者の関連性について。

答 農業委員の業務は、農業委員会に出席し、農地法に規定する業務等を審議し、最終的に合議体として決定することが主体となる。一方、新設された農地利用最適化推進委員は、それぞれ担当地域を受け持ち、農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消などの現場活動を積極的に行うこととしている。農業委員が現地確認を行うことや、最適化推進委員が農業委員会へ出席することもあり、両者が連携することにより、農地利用の最適化が図られることを目指している。

結果：全会一致で可決

## 議案第25号 平成28年度錦帯橋管理特別会計予算

問 (仮称) 錦帯橋資料館整備事業に関し、沖縄便が新規就航となり、観光行政に力点を置く中で、様々な交通手段での来訪が想定されている。当該施設だけではなく、錦帯橋周辺地域全体の駐車スペースの確保についてどのようにするのか。

答 錦帯橋下河原駐車場は、景観上世界遺産登録推進においても支障を来たしている。観光客の交通手段はバスやマイカーが主流となっていることなどから、駐車場のあり方について適地選定等、現在鋭意検討している。

結果：全会一致で可決

その他、経済常任委員会に付託された事件は、全て全会一致で可決すべきものと決しました。

## 経済

委員長	藤本 泰也
副委員長	松川 卓司
委員	阿部 秀樹 貴船 齊 桑田 勝弘 坪田 恵子 細見 正行 山本 辰哉



沖縄(那覇)線新規就航・東京(羽田)線増便  
記念セレモニー

## 議案第15号 平成28年度岩国市一般会計予算

問 小中学校タブレット端末等整備事業で整備される端末を使用した授業はいつごろから始まるのか。全ての児童生徒が端末に触れることができるのか問う。

答 学校にはできるだけ早く整備したいが、9月に契約、10月に発注を予定しており、端末の使用開始時期は、年度後半となる予定である。少人数のクラスは別として、当初は1人1台ではなく、複数人のグループで使用するものと考えている。

問 岩国市医療センター医師会病院対策費に関して、救急部門の運営は赤字であり、慢性的な医師不足、看護師不足である。今後の見通しについて問う。

答 「岩国市地域医療計画」の基本理念において、支えあい、地域で安心して暮らせる医療環境の確立を目指し、医療提供体制を堅持するため、医師、看護師、医療提供者の確保に努めている。医師等の確保に向けて、今後とも、山口県、医師会等と協議を重ねてまいりたい。

結果：全会一致で可決

その他、教育民生常任委員会に付託された事件は、全て全会一致で可決すべきものと決しました。

## 教育民生

委員長	大西 明子
副委員長	武田伊佐雄
委員	石本 崇 片岡 勝則 中村 豊 広中 英明 丸茂 郁生 渡辺 和彦

# 3月定例会 常任委員会審査報告



## 議案第15号 平成28年度岩国市一般会計予算

問 新しく建設されるごみ焼却処理施設の場所が、日の出町の海岸線沿いであり、中でも余熱利用施設や多目的広場など市民が訪れる施設については、海と隣接するところに予定されているが、津波対策はどうのように考えているか。また、岩国市ハザードマップとの兼ね合いはどうのようになっているのか。

答 建設場所については、県において標高約4.7mの堤防が整備されていることに加え、地盤の高さについては標高3.5m、一部箇所については5.5mまでかさ上げを行っているほか、工場棟の1階シャッター部分にも、浸水対策を施すこととしている。ハザードマップや県において発表された想定最高津波水位は標高3mとされていることから、対応は可能となるものと考えている。

問 市内の道路においては、地域住民だけでなく、不特定多数の方が利用されていながら、様々な事情から市道認定されていない私道があるが、それらの多くは地元自治会等の負担により維持管理が行われている。これらは全市的なものであり、地域のインフラ整備をする意味合いからも、市が積極的に問題解決に取り組むべきではないか。

答 従来から、私道については一定のルールのもと整備が進められてきたこともあり、その要件を変更するとなると、以前整備されたところとの公平性を欠くことになりかねない。一番ネックとなるのは、私道に筆界未定地があることにより所有権が確定できることであると認識しているが、その解消に向けて、どういった手法があるかなどの相談には今後とも応じてまいりたい。

### 結果：全会一致で可決

その他、建設常任委員会に付託された事件は、全て全会一致で可決すべきものと決しました。



委員長	石原 真
副委員長	三原 善伸
委員	植野 正則
	桑原 敏幸
	越澤 二代
	田村 順玄
	松本 久次
	山田 泰之

## 議案第15号 平成28年度岩国市一般会計予算

問 通学定期券補助金について、市内の中学生・高校生の通学定期券利用者で本事業の対象者は何名いるのか。また、どういった告知方法を考えているのか。

答 対象者については、錦川清流線利用者が80名から90名程度、防長バス利用者が7名程度と推計している。告知方法については、チラシ等を作成し、列車やバス等の車内へ掲示し、各学校へ説明も行い漏れのないようにしてまいりたい。

問 LED防犯灯の普及率や周知方法はどのようにになっているのか。

答 LED防犯灯の普及率は、平成28年2月末現在で80.7%の普及率である。周知については、これまでに行っているが、より具体的に記載することに配慮した手引きを作成するなど制度の周知に努め、LED化を図ってまいりたい。

### 結果：賛成多数で可決

議案第60号行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例、議案第98号山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減、共同処理する事務の変更、共同処理する事務の構成団体の変更及びこれに伴う規約の変更について、以上2議案は賛成多数で可決すべきものと決しました。

請願第1号は引き続き審査すべきものと決しました。

その他の案件につきましては、全会一致で可決すべきものと決しました。



委員長	河合 伸治
副委員長	広中 信夫
委員	小川 安士
	片山 原司
	重岡 邦昭
	長 俊明
	藤重 建治
	前野 弘明



# 岩国 シロヘビの館 リニューアル オープン！

3月24日(木)、シロヘビを間近に見ながら、歴史や生態について楽しく学べるミュージアム「シロヘビの館」がリニューアルオープンしました。設備も展示も一新し、より一層見やすく、わかりやすくなりました。



# 「岩国市新市誕生10周年記念式典」



平成18年3月に8市町村  
が合併して誕生した岩国市  
は、10周年の輝かしい節目  
を迎えました。

記念式典では、福田市長の式辞に続き、桑原市議会議長があいさつをいたしました。

また、「10周年のあゆみ」の記念映像、岩国市ジュニア合唱団の皆さんによる「岩国市歌」の披露など、多彩な催しで10周年を祝いました。



いわくに市議会だより編集委員会

さて、福田市政3期目が、スタートし、新たな計画も策定され、ぐぎりの合併10周年を迎えて、新たな岩国市が動き出す予算に対し、各議員から幅広い質問がありました。今後も議員の活動が少しでも分かりやすいように、編集委員、全員で努めています。

編集後記

副委員長  
三原 善伸  
委員  
貴船 齊  
廣中 信夫  
広中 英明  
山田 泰之  
山本 辰哉  
渡辺 和彦